

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	上智大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京
大学全体の総収容定員	11,300名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科組織構成	神学部（神学科）、文学部（哲学科、史学科、国文学科、英文学科、ドイツ文学科、フランス文学科、新聞学科）、総合人間科学部（教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科、看護学科）、法学部（法律学科、国際関係法学科、地球環境法学科）、経済学部（経済学科、経営学科）、外国語学部（英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、スペイン語学科、ロシア語学科、ポルトガル語学科）、総合グローバル学部（総合グローバル学科）、国際教養学部（国際教養学科）、理工学部（物質生命理工学科、機能創造理工学科、情報理工学科）		
事業計画名	上智大学理工学部デジタルグリーンテクノロジー学科設置計画		

2. 事業概要

<p>現在3学科を擁する本学理工学部内に、デジタル技術を基盤としてグリーントランスフォーメーションを推進する人材を育成することを目的とした新学科を設置する。本学では、国際教養学部をはじめ、理工学部内の英語コース（グリーンサイエンス、グリーンエンジニアリング）、Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF)など、英語課程の運用において多くのノウハウを蓄積している。このノウハウを活かし、新学科でも卒業研究も含めた全教育を英語で実施する。加えて、PBL科目等、技術の社会実装を強く意識したカリキュラムも提供することで、高い専門性を有し、かつ世界をフィールドに活躍できる人材を輩出する。</p> <p>新学科は2027年4月の開設を計画しており、学年定員は50名、教員は新規採用者も合わせて10名を予定している。学年定員の内、約半数を留学生とし、国際的な共修環境を構築する。また、DX、GXといった複数の分野にまたがる領域においてイノベーションを創出できる人材の育成を目指すため、新学科に所属する学生同士や教員同士だけでなく、様々な専門性を持つ学生、教員、学外者が自由にアイデアを出し合い、有機的な協働が実現できるようなスペースや協働の結果を発信できるスペースを整備する。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度				
認可申請・届出の別	届出				
改組内容	既存学部における学科の新設				
設置等組織名	理工学部デジタルグリーンテクノロジー学科（仮称）				
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	東京都千代田区紀尾井町7-1				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	50名				
他学部等の入学定員の減少数	30名				



事業計画名 上智大学理工学部デジタルグリーンテクノロジー学科設置計画

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	理工学部デジタルグリーンテクノロジー学科(仮称)	入学定員増数(合計数)	50名
所在地	東京都千代田区	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	30名

<社会や地域のニーズ・課題>

- SDGsの目指す持続可能な社会の実現に関する世界的な取組みが加速
- 様々な業界のトップランナーがカーボンニュートラル、カーボンネガティブ等の実現に向けた技術課題に注目しており、高度なGX人材に対する需要が世界的に拡大
- 機械学習や生成AIの有用性の周知と可能性の拡大によりデジタル技術に精通した高度GX人材の需要が拡大するとともに、それに応え得る国際人材不足が深刻化

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 日本人学生と留学生が英語によるカリキュラムの下で共に学び、国際的な共修環境の実現
- データサイエンスやデジタル技術の活用によって従来型のGX技術をさらに進化・発展させた高度なGX技術の習得
- 特定成長分野における諸問題の解決に熱意をもって挑む学生と、多様な専門性を持つ教員や学外者が有機的に協働でき、生み出されたアイデアを自由に発信できる教育環境の整備

<教育内容・育成する人材像>

- 本学に既設の理工系英語課程の運用実績を活かした英語カリキュラムの提供
- あらゆる科学技術の基礎としてのデータサイエンス科目・プログラミング科目の必修化
- データ駆動型社会の実現に必要なDX技術と持続可能社会の実現に必要なGX技術の学修
- データサイエンスを基盤とするDX技術と理工系各分野のGX技術とを融合した先端技術の学修による、デジタル技術に精通した高度GX人材の育成
- 社会課題の解決に挑む確かな実践力と社会変革を牽引する強力なリーダーシップとを兼ね備えた人材の育成

<連携を通じた教育体制の整備>

- 地域企業や地方公共団体との連携による、実社会の課題解決を経験させるインターンシップ科目やPBL科目の開講と、実践的経験を積む場の設置
- 理工学部の関連団体や本学企業支援事業との連携による、リーダーシップや創造性を育むアントレプレナーシップ科目の開講

<多様な入学者の確保>

- 国内のDXハイスクール採択校に加え、英語による教育を行うIB校やインターナショナルスクール、英語教育に力を入れる協定校等に対する積極的な広報の実施
- 海外のIB校や協定校から選定されたターゲット校に対する、対面訪問による重点的な広報の実施
- 特定成長分野に興味を持つ国内外の学生が幅広く志願できるとともに、新学科の求める資質と能力を入学者が満たすことを担保できる入試方式の設定

